

2025年7月22日

各位

会社名 ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 南 洋 一 郎
(スタンダード・コード番号: 6769)
問い合わせ先 取締役総務部長 山 本 武 男
電話番号 03-5217-6660

業績予想の修正及び営業外費用(為替差損)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年2月5日に公表した2025年12月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。また、2025年12月期第2四半期連結会計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)において営業外費用(為替差損)を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2025年1月1日～2025年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,847	△286	△308	△246	△23.05
実績 (B)	1,514	△369	△585	△456	△42.74
増減額 (B-A)	△332	△82	△276	△210	
増減率 (%)	△18.0%	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2024年12月期第2四半期)	2,047	△102	156	159	14.93

2. 修正の理由

当社は当連結会計年度より新たな中期経営戦略「Innovate100」をスタートいたしました。半導体、AI/IoTソリューション等から成る事業ポートフォリオを活かしつつ、今後の経済社会においてAI活用ユースケースの適用加速に寄与する革新的なソリューションを提供し、経済社会の生産性向上に取り組み、2027年度に連結売上高100億円超の実現を目指しております。

当第2四半期連結累計期間においては、LSI事業については、概ね当初の計画通りの進捗となりましたが、AIOT事業において、一部大口顧客の需要減少による受注の減少等により計画を下回る見込みとなりました。これらの結果、当社グループ全体としては売上高および売上総利益が当初計画を下回る見込みです。

販売費及び一般管理費についても、研究開発活動を順調に進めつつコスト削減を進めた結果、全体として計画を若干下回る見込みとなりましたが、上記理由により営業損益についても当初見込みを下回る見込みとなりました。

また、経常損益および中間純損益についても、上記理由に加え、為替が前期末比で大幅に円高に推移したことにより、主に現預金等の保有する外貨建資産の換算差額として為替差損2億17百万円を計上すること等により当初見込みより大幅に下回る見込みとなりました。

なお、当期通期の業績見込につきましては、LSI・AIOT両事業とも当初より下半期に大きく売上を伸展させる計画であり、現在のところ当社を取り巻く環境に大きな変化はないと判断しており、2025年2月5日に公表いたしました業績見込からの変更はございません。今後の事業環境および業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

す。

3. 営業外費用（為替差損）の計上

上述の通り、2025 年 12 月期第 2 四半期連結会計期間（3 か月間）において、為替相場の変動により、為替差損を 79 百万円計上いたしました。これは主に、当社が保有する外貨建資産に対し、為替相場が前期末と比較して円高に推移したことにより発生したものです。

以上